

# 英会話・学習塾を統合へ

## 和田塾、入試改革にらむ

静岡県西部を中心に学習塾を運営する和田塾(浜松市)は、英会話教室のオプネット(磐田市)、学習塾のライトハウスコミュニケーション(掛川市)と経営統合する。まず和田塾とオプネットが10月1日付で合併し「ライトハウスエデュケーション」を発足。来年1月1日付でライトハウスとも合併し、事業規模を拡大する。

2020年からの大学

入試改革で英会話能力が重視されるのを見据え、受験英語と英会話を一体で教える環境を整備するのが狙い。「和田塾」「オプネット英語学院」など塾の名称は変更しない。県西部での事業所数は3社で計15カ所、生徒数は約1200人となる。

新本社は現在の和田塾の本社に置く。社長にはライトハウスの松下一徳代表が就任する。和田塾の大場規之代表、オプネットの高塚勝久代表は会長として年下の松下代表を補佐する。

和田塾の大場代表は「入試改革で英会話と受験英語が1つになる。両者を融合させた教育を静岡県西部から発信し、ゆくゆくは全国に広げたい」と話す。